

The Jumonji Press

十文字学園女子大学・短期大学部

新座だより

No. 39

2012.10

学園創立90周年特集

- ▶ようこそ、ロバート キャンベルさん
- ▶こと先生から授かった自^じ彊^{きょう}術^{じゆつ}
- ▶十文字学園杯女子ジュニアサッカー招待大会

08▶就職支援 2012 インターンシップ体験記／保護者向け就職セミナー報告

12▶国際交流レポート 中国・深圳職業技術学院と調印／中国人大学生50名が訪日

10▶こちら学生編集局／第46回桐華祭情報 16▶若桐会だより

17▶平成23年度 決算の概要 18▶公開講座・入試情報 20▶学園創立90周年記念祝賀会



十文字学園創立90周年

祝賀会レポート ～創立100年に向け決意新たに～

教育の質的向上、量的確保に注力

4月28日(土)、ANAインターコンチネンタルホテル東京で十文字学園創立90周年記念祝賀会が開催された。参加したのは、十文字中学校・高等学校、十文字学園女子大学・短期大学部、十文字女子大附属幼稚園関係者約400名。

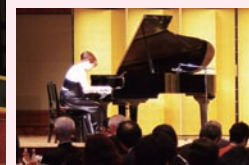
冒頭、挨拶に立った十文字一夫理事長は、「本学園は、“身をきたへ”の学園歌に示される建学の精神と自彊息まざる日々の営みを重ねて、3万人を超す卒業生を送り出し、社会的にも一定の評価を得ることができた」と、先達の労苦に感謝した。その上で、経営原則を維持し、さらなるチャレンジを続けることを強調。「健康・運動・ウェルネス領域の充実」「グローバル人材育成」「学校施設の社会への開放」が、創立100年に向けた検討課題であるとした。

さらに「過去の栄光や伝統だけでこれからの学園は成り立たない。急激な少子化の中で、十文字に入って本当によかったと生徒・学生・保護者に心から思われる学校づくりを急がなければならない」と、教育内容の質的向上と量的確保に力を入れる決意を新たにした。

横須賀薫学長は、「教育機関の増加、少子化など、大学をとりまく現況を見つめ、建学の精神をあらためて解釈し、次代に向かっ



元十文字女子大附属幼稚園園長の外山滋比古氏の首頭で乾杯。



100周年に向けた挑戦を語る十文字一夫理事長。ピアニストとして活躍する卒業生・浅野衣美さんが生演奏を披露。

て具体的な活動を重ねることが大切」と述べ、草野一紀十文字中学・高等学校長は、「建学の精神の原点に立ち返り、十年後にさらに発展した十文字学園にするために、何をすべきなのか。本年を、新たな決意の年にしたい」と90周年を意義づけた。
(渡辺沙紀・渡部美香記者)

創立90周年記念公開講座及び保護者会in川越のお知らせ

学園創立90周年を記念して公開講座及び保護者会を開催します。十文字学園女子大学では、保護者会を学外で開催するのは初めてです。多数のご出席をお待ちしています。

日 時 平成24年12月1日(土) 場 所 川越プリンスホテル

第一部 14:00～15:10

講演会「ことばの花束をあなたに」

講 師 好本恵(元NHKアナウンサー・本学特任教授)

定 員 200名

内 容 子どもや若者とどう関わっていけばいいのか。講師の体験を交えながらお話しします。

申し込み p18「予約方法／お問い合わせ先」をご覧ください。



第二部 15:20～17:00

保護者会

申し込み 学生生活課

TEL:048-260-7735(直通)

編 ◆ 集 ◆ 後 ◆ 記

今夏、学生有志が学園創立90周年を祝う「ロールフェス」に参加しました。たくさんのロールケーキと人、そしてケーキがなくなる早さに驚きました。2種類の味を堪能しようと思っていたのですが……私は取材と掛け持ちのため、食べるのが

遅かったようです(笑)。しかし、参加者全員の笑顔がすばらしく、心の底から楽しむことができました。学生編集局からも、「十文字学園創立90周年、おめでとうございます!」。
(岸真裕美:編集長)

*「新座だより」へのご意見・ご要望は、kohoka@jumonji-u.ac.jpまで。

表紙の写真

上: 十文字学園杯女子ジュニアサッカー招待大会 下左: 深圳職業技術学院を訪問した横須賀薫学長 下中央: 横山久美選手 下右: 中国人学生を前に琴の演奏を披露

新座だより第39号 2012年10月15日発行

発行人: 岡本英之

編集長: 岸真裕美 監修: 大西正行

編集総務: 三野裕子 編集事務: 篠原 梓

発 行: 十文字学園女子大学・十文字学園女子

大学短期大学部・十文字女子大附属幼稚園

〒352-8510 埼玉県新座市菅沢2-1-28

Tel. 048-477-0555(代表)

学生記者が

キャンベルさんに質問!

Question

講演会でおっしゃった
「元気な女性」になるためには
どうすればいいですか?

Answer

期日までに与えられた仕事を仕上げなければならぬとか、子どもがいる人なら〇時まで買い物をしご飯を作らなければならないとか、人それぞれ決まりごとや役割がありますよね。それを、責任を持って果たせるような大人にならなければならない。そして、仕事においても、恋愛においても、目標をたてて1歩ずつでも近づくよう継続的に努力してほしいと思います。昨今は、女性の活躍の幅が広がっているからこそ、何をすればいいのかわからない人も多いでしょう。たとえ、信念を持って新しい道に進んだとしても、実は女性に対するハードルはさまざまなおところにまだ残っているんですね。壁に直面してもしなやかに越えていけるよう、どんな目標に対しても諦めずにコツコツ努力を重ねることが大切です。

◆◆ キャンベルさんとお話をして ◆◆

女性には大きな可能性が広がる一方、女性ならではの壁があるなど、今後のキャリア選択の参考になるお話をたくさん聞け、勇気をいただいた。目の前にあるチャンスを逃さないよう、頑張っていきたい。

(吉田未希・廣瀬咲希記者)



①講演会に集まった大勢の観客。②前方のスクリーンにはキャンベル氏が撮影した写真を投影。③十文字一夫理事長の姿も。④学生から花束を受け取るキャンベル氏。

ロバート キャンベル◎アメリカ・ニューヨーク出身。日本文学研究者。現在、東京大学大学院で教授をつとめ、江戸時代から明治時代にかけての漢詩文を専門に研究。NHK教育テレビ「Jブンガク」をはじめ、民放の情報番組やバラエティ番組など、テレビやラジオでも活躍中。

ロバート キャンベル氏
講演会はじまりは
坂の途中で

— 日本文学逍遙のすすめ —

7月21日(土)、本学記念ホールで
ロバート キャンベル氏を講師に迎え、
十文字学園創立90周年・短期大学部表現文化学科
開設記念講演会を開催しました。

取材・文：広報委員 小林実准教授

日本橋、人形町、桜の小金井……
江戸の粋は永遠に写真とともに
江戸文化を解説

記念ホールは、当初の予定を大きく上回る400人超の観客であふれかえった。講師に招かれたのは、お茶の間でもおなじみの日本文学研究者、ロバート キャンベル氏。自身の研究と多くのメディア出演の経験をもとに、氏が忙しい合間をぬって自ら撮影した多くの写真をプロジェクターで映し出しながら、東京に残るさまざまな歴史遺産やおすすめの散歩道について解説された。

例えば、世界有数の美しさを誇る日本橋。橋詰めでは、最後の將軍・徳川慶喜によって「日本橋」と書かれた標識が見られるほか、船に乗って日本橋川を進めば、岸辺の石垣に家康時代に薩摩藩の使用人によって刻まれた島津家の家紋がみとめられるという。

さらに足をのばして人形町界隈へ出向くと、江戸時代のはじめに設けられた遊郭「旧吉原」をしのぶ「大門通り(おおもんどおり)」があり、その近くの甘酒横丁には、明治座への観劇時に多くの人が立ち寄る、老舗寿司屋「関山(せきやま)」がある。

粋人が好んだ
玉川上水の桜

桜の季節には、皇居の北の丸に隣接する千鳥ヶ淵に赴くのも一興。現在も上野と並ぶ有名なお花見スポットであるこの場所は、堀のかたちが、千鳥が飛んでいるように見えることから、そう名づけられた。

しかし江戸時代、粋人は桜の風情を堪能するために、郊外のお金井まで出かけていったという。現在も残る玉川上水に沿った桜並木は、江戸時代の文獻にも登場する。「資料と照らし合わせながら散策してみると、さらに味わい深いことだろう」とキャンベル氏。

該博な知識とユーモアをまじえた巧みな話術に観客はすっかり引き込まれ、90分はあっという間。学園創立90周年と短期大学部表現文化学科創設を記念するのにふさわしい、大変充実したひとときだった。

最後に、「現代の日本女性は、とても元気で頼もしい。その元気をもって、若い学生のみならずには明るい未来を築いてもらいたいですね」と、温かいメッセージをいただいた。

- 1 下腹部で両手の五指を組み合わせる。下腹部に当たった手と両肩を勢いよく上に引き上げる。同時に、強く鼻から息を吸い込む。両肩を引き上げる。このときひじは曲げない。直ちに口からハッと息を吐きながら、ストンと肩を落とす。10回
- 2 指先を肋骨に差し込み、手と両肩を勢いよく上に引き上げる。同時に強く鼻から息を吸い込む。直ちに口からハッと息を吐きながら、ストンと肩を落とす。元の姿勢に戻る。10回
- 3 首の後ろで両手を組み両ひじをあごの下でひたり合わせる。両ひじにはずみをつけて、左右一直線になるくらいに開く。開いたはずみで直ちに最初の姿勢に戻る。10回
- 4 後ろで手を組みひじを伸ばし胸を張る。鼻から急速にスッと息を吸うとともに、はずみをつけて両肩と腕を上へ勢いよくあげる。このとき、ひじが曲がらないようにする。直ちに口からハッと息を吐くとともに、肩をストンと落とす。10回
- 5 右手で左ひじを右に強く引き、左肩が前にくるようにする。前の動きの反動で左ひじを左後方に強く突き出し、右肩が前にくるようにする。このとき、左手小指側を右手人差し指と中指ではさみ、左腕を押す。上体は左右にねじるが、顔は常に正面を向いたまま行う。10回 同じ要領で右も行う。10回
- 6 首の力を抜き、はずみをつけて頭を左右に倒す。12回
- 7 首の力を抜き、はずみをつけて頭を前後に振る。12回
- 8 頭の重さを利用して左右に回す。12回
- 9 頭を右に傾け右手の親指は曲げほかの指を伸ばし、左耳の下に当てる。右手を斜め上に伸ばし、ひじ関節を曲げながら左耳下腕上を鼓を打つようにたたく。その反動で腕を再び伸びる。10回
- 10 首をさらに左斜め上に向け、同様にあごの下をたたく。唾液腺6回 そのまま顔が天井に平行になるまで上に向け、同じ要領であごのどの仏の間をたたく。甲狀腺6回
- 11 額を上に向けて、左手の親指と人さし指で小さい輪を作つて額の上におく。高く振り上げたかみで額をポンとたたく。6回 同じ要領で右手に変えてたたく。6回
- 12 両手の指先で軽く上まぶたの中央部あたりの骨の内側を押す。1回 続いて下まぶたの中央部あたりの骨の内側を押す。1回 両ひじを左右一直線に張り、中指頭で目尻の骨の内側を押す。1回 両ひじは左右一直線のまま中指頭で目頭をゆつへり指圧する。1回 手のひらをほかに当り、中指の中央部が当たる位置で眼底に向けてゆつへり押す。このとき、両ひじはそうえて固定し、眼をこすらないように注意する。1回
- 13 上半身をできる限り深く曲げ(前屈)、曲げた勢いで上体を起す。10回
- 14 腕立て伏せは現在、本学では行っていない。10回
- 15 両足を左右に開き、両手を腰に当てる。上体をできる限り深く後ろに反らせ、反らした勢いで元の姿勢に戻る。10回
- 16 はずみをつけて両手を真上に振り上げ、上腕部が耳をこする感じで後方に限界まで振り上げる。振り上げた反動を使って振り下ろし、両手が両ももをこする感じで後方に振り上げる。10回
- 17 左腕を前に水平に出し、はずみをつけて振り下ろしながら、後ろから上へ、続いて前へとまわす。10回 続けて反転して行う。10回 右手を左手と同じ要領で行う。10回

- 18 つま先をそろえ、両腕を肩幅に広げ前に水平に出す。はずみをつけて両手を振り下ろしながら後ろから上へ、続いて前へと回す。10回 続けて反転して回す。10回
- 19 ①左手を横に上げる。身体を右にねじると同時に左手を上へ振り上げながら大きく円を描いて、肩越しに右肩甲骨と背骨の間を手のひらでたたく。②その反動を利用して腰と上体を左にねじり、同時に左手を真上に振り上げながら大きく円を描いて、背に回した右肩甲骨を手の甲でたたく。③右手を横に上げて、①②と同じ要領で行う。10回
- 20 両腕を肩の高さに伸ばして左に向ける。10回
- 21 ①左右の動きを同時に行う。10回
- 22 両手を腰に当て、腰を左に曲げる。10回
- 23 上半身を左真横に曲げる。はずみをつけて上半身を右横に曲げ、右手先が右ひざ関節より下がるようにする。はずみをつけて左横に曲げる。10回
- 24 両足のつま先をそろえ、両手のひらを向い合わせの状態(五指を握りこぶしにして)前方に振り伸ばし、目の高さで止める。同時に上体と腰を垂直に落とす。このとき、かかとを地

- 25 両足を左右に開く(つま先は外向き)。両腕を前方(指先は握り、目の高さ)に振り上げて、ひざを曲げて上半身を垂直に落とし、臀部を両ひざの高さまで落とす。直ちにその反動を使って最初の姿勢に戻る。10回
 - 26 両手を腰に当てる。左足をすり足で左に出し、足先は左に向け大きく開脚。次に元に戻る。1回 右足を同様を開脚し、次に元に戻る。1回
 - 27 両足を左右に広げ腰を落とす(つま先は外向き)。両手の手のひらをひざ頭に当て胸を張る(前かがみにならない)。はずみをつけて腰と腕を伸ばしたまま、腰を落とす(首の位置も下がる)。下げた反動で元の姿勢に戻る。10回
 - 28 両足を肩幅に開き、上体は左にねじる。両腕を左斜め後ろに上げる。顔も左後ろに向け、目は手先を注視する。両腕ははずみをつけて大きく右後方に振り、上体も右にねじる。その反動を利用して、左に振る。10回
 - 29 「両ひざを折り仰向きに寝て両ひざ頭で床を打つ運動」は現在、本学では行っていない。10回
 - 30 両手を腰に当てる。直立のまま腰から二つ折りになるように上半身を前屈する。頭の力、首の力を抜いて後ろに反る。10回
 - 31 かかととつま先をそろえ両手はひじを伸ばし、体側につける。はずみをつけて5cm程度ジャンプする。ひざを曲げずに足裏全体(特にかかと)で着地する。10回
- 最後の運動
- ① 1と同じ動作。10回
 - ② 右手を頭の上から左耳を押さえ、左手のひらをお腹に当てる。右手を引くとともに、左手をあごをなめ上へ押し上げる。1回 両手を組みあてて左も同様に行う。1回

※このほか、座位で行う方法もあります。なお、誌面の都合により細かい動作の説明は省略しています。

十文字こと・大元先生が伝えた 自彊術

— 心身の健康な女性を育成する —

創立から90年にわたり、十文字学園に伝えられる自彊術。今一度、その手順や効果を確かめながら、健康法の普及に尽くした創設者の想いをふり返ります。

取材・文／吉田末希・廣瀬咲希記者 撮影／岸真裕美編集長
監修／十文字学園女子大学非常勤講師(前十文字中学・高等学校学監)不老浩二・人間生活学部教授 津吹卓

自彊術の予防効果

成人病

肥満／高血圧／動脈硬化／心臓・腎臓疾患／糖尿病／慢性肝炎／慢性胃腸病

精神・神経障害

ノイローゼ／うつ病／不眠症／自律神経失調症／膠原病／更年期障害／ストレス

整形外科的疾患

鞭打症／神経痛／リュウマチ／椎間板ヘルニア／肩こり／四十肩／五十腕／ぎっくり腰／筋萎縮症

記者の目

深部の筋肉まで届くのを実感！

自彊術は、単純な動作なので無理なく取り組むことができるが、動作を続けるうちにじんわりと汗が出てくる。身体の深部の筋肉を使っているからだ。使っている筋肉を感じながら自彊術に取り組んでみるといいかもしれない。身体を動かしながら、十文字学園の歴史を感じることができた。こと先生は「立派な女性になるためには強健な身体と強くて自由な精神を持たなければならぬ」と、自彊術を熱心に教えたという。この伝統をこれからも受け継いでいってほしい。

(廣瀬咲希記者)

十文字中学・高校の伝統を大学にも生かして

自彊術とは、大正5年に手技療法士の中井房五郎氏により創案された、31の動作からなる健康法だ。名づけ親は十文字学園の創設者・十文字こと先生の夫・十文字大元先生であり、中国の古典の句からとったとされる。大元先生は自身の病をこの体操で克服されたことからその普及に大きくかかわり、文部省(現・文部科学省)での講演や、全国の師範学校での実演などを行っていた。

十文字学園が創立して以来、毎朝校庭に生徒・教員が並び、朝礼とともに続けられている自彊術体操。「自彊」とは、自らを強く鍛えるという意味だ。「身をきたへ 心きたへて世の中に 立ちてかひある 人と生きなむ」

という学園歌にもあるように、社会で役立つ人間になるには心だけではなく、身体も鍛えなければならぬ、という創立者の理念にもとづき、実践の基本として導入された。

また、十文字中学・高等学校には「自彊不息」(自分を鍛えることをやめない)というスローガンがある。語源は、こと先生が尊敬した孔子の教えである。この言葉の通り自彊術体操も毎朝継続的に行われており、90年経った今もなお、中学・高校の生徒・教員の健全な心身を養ってくれる大切な伝統だ。大学では今年の前期、共通科目「人間と運動」において、この自彊術体操に取り組み、学生たちに好評だった。



information

十文字スポーツクラブが発足

一般社団法人
十文字スポーツクラブ
理事長 岡本英之



学校法人十文字学園を母体とした非営利型の一般社団法人十文字スポーツクラブが5月に発足しました。この法人は、地域に根づいた総合型スポーツクラブを運営し、地域社会の活性化に寄与するとともに、少年少女及び青少年の健全な育成や地域住民の健康の増進に貢献することを目的に設立しました。

今後は、スポーツイベントやスポーツ教室の開催をはじめ、スポーツ組織の支援や指導者の育成を図っていく予定です。また、学園創立100周年に向け、スポーツを通じて、新たな地域社会への貢献と学園ブランドイメージの向上を模索してまいります。今後の活動にぜひご注目ください。



視察に訪れたFC東京の大熊清テクニカルディレクター（前FC東京監督）から激励の挨拶。



第13回 十文字学園杯

女子ジュニアサッカー招待大会開催

未来のなでしこになれ！

ロンドンオリンピックで盛り上がる8月上旬。

創立90周年を迎える十文字学園でも、女子小学生によるサッカー大会が盛大に開催され未来のなでしこたちが熱いプレーを繰り広げました。

白熱した試合 FC東京との交流も

「小学生の女の子」から日本の女子サッカーの発展は始まる——十文字学園の十文字二夫理事長とサッカー指導者がそんな確信を持ち続けて13年目。8月4日（土）・5日（日）、関東近県の女子小学生で構成されたサッカーチームが「十文字カップ」を手に入れるために競う「十文字学園杯女子ジュニアサッカー招待大会」が開催され、新座キャンパスの天然芝グラウンドは、ロンドンオリンピックさながらの熱気に包まれた。

開会式では、大会名誉会長の十文字理事長をはじめ大会役員が紹介されたあと、草野一紀大会会長（十文字中学高等学校校長）が主催者を代表して挨拶に立ち、参加12チームの選手を激励。岡本英之一般社団法人十文字スポーツクラブ理事長が昨年の優勝チームから優勝杯の返還を受けた。

激闘のすえ、今大会を制したのは、戸木南ボンバーズFC。千葉フエニックスを2対0で下し、みごと優勝カップを手にした。

2日間にわたる戦いは、地元紙の埼玉新聞社が取材するなどメディアも大注目。大会を後援する十文字学園にとっては、女子サッカー普及への「井戸掘り役」として、今後のさらなる展開を模索する節目の大会となった。

また、今大会では、FC東京のコーチ4名を招き、参加チームの選抜選手とのスペシャルゲーム（3試合）も実施。選手たちは真剣な眼差しでゴールを狙い、日ごろの練習の成果を存分に発揮したようだ。白熱した試合の後には笑顔がこぼれていた。今回のFC東京との試合は、「未来のなでしこ」として、大きな刺激となっただろう。（取材文：棚山翔子・西牟田美紅記者）

十文字の名を背負い ピッチに立つ

めざせ!! なでしこジャパン
横山久美さんデビュー

十文字学園女子大学特待生

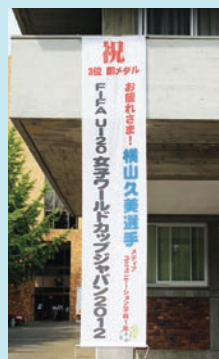
巣鴨の十文字高等学校でサッカー部を牽引してきた横山久美さんが今春、十文字学園女子大学の特待生として、人間生活学部メディアコミュニケーション学科に入学した。彼女は、U-20日本女子代表、いわゆる「ヤングナでしこ」の一員であり、先般行われた「FIFA U-20女子ワールドカップ」でもその実力を見せつけたばかりだ。

横山選手は5月14日（月）、横須賀黨学長、安達一寿学科長のもとを訪ね、特待生として入学が認められたことへの感謝の意を表しながら、十文字学園女子大学の名を背負ってがんばる決意を語った。

横山選手はこれに先立つ12日（土）、NACK5スタジアム大宮で、自らが所属する「岡山湯郷Bee」対「浦和レッズレディース」の試合に出場。2010年の「FIFA U-17女子ワールドカップ」北朝鮮戦（準決勝）で6人抜きゴールを含めて6得点を挙げた技術と迫力を披露、首都圏のファンを前に存在感をアピールした。



横須賀学長を表敬訪問。



就職支援 2012

若者の就職難が社会問題となる中、毎年、高い就職率を誇る本学では学生の健闘を支える多彩なサポートを展開しています。

NOTE 1

夏季インターンシップ報告

今年のインターンシップに参加した60名の学生から2名の体験記を紹介します。

受け入れ先

ウイズダムアカデミー

人間生活学部人間発達心理学科
3年 山口 実

喜びも苦労も経験し、将来像が明確に

将来は子どもにかかわる仕事に就きたいと考えており、この夏、児童を運営するウイズダムアカデミーでのインターンシップに参加した。子どもと接する楽しさと難しさ、社会人になる責任を学び、多くの刺激を受けた。

ウイズダムアカデミーでは、毎日、学習の時間や植物日記を書く時間が設けられている。特にインターンシップの前半は、どの程度学習を補助すればいいのか、あるいは子ども自身の力にまかせるのか判断が難しかった。また、短い期間で大勢の名前と顔を覚えることにも苦労した。フリータイムになると、ドッジ

ボールをしたり、カードゲームをしたり、本を読んだりしてみんなで遊んだ。こうした毎日の触れ合いを通して、子どもとの接し方が少し理解できたように思う。

研修後半には、子どもたちが私の名前を覚えてくれ、仲よくなることができ、とてもうれしく思った。この経験を通して、私はさらに子どもが好きになった。自分は子どもとかかわる仕事に就きたいのだとあらためて実感することができた。ウイズダムアカデミーでのインターンシップで学んだことを、今後の就職活動に生かしていきたい。

Vital Message

学生一人ひとりが 本学の代表者

就職担当副学長 橋本ヒロ子

就職活動が激化する中、本学では新設「インターンシップ入門」の事前受講を半義務化したことにより、今年度は60名の学生がインターンシップを経験しました。まず、ご協力くださった企業・機関にお礼を申し上げます。また、酷暑の中で精一杯頑張った学生たちは、ご苦労さまでした。5日ないしは10日以上以上のインターンシップに参加した後、10月の報告会で発表しなければ単位にはなりません。1、2日だけ参加した学生にとってもよい経験になったよう。社会人としての第一歩となるこの経験は、就活時はもちろん、人生のさまざまな場面で役立ちます。

また、受け入れ側にはインターンを通して本学を評価します。学生一人ひとりが本学の代表者という認識を持って取り組めるよう、本学では、今後も全学的な支援を展開します。

NOTE 2

保護者向け 就職セミナー

約500名の保護者が
就職への理解深める

5月19日(土)、本学記念ホールで「保護者向け就職セミナー」が開催された。講師に麓幸子氏(日経BP社 ビジライフ局長・日経WOMAN発行人)を招き、「就活生の親が今、知っておくべきこと」をテーマに講演。約500名の保護者が、熱心に耳を傾けた。

講演後は、「学科別説明会」が開催され、教員と保護者の間で、就職について活発な質疑応答が交わされた。



受け入れ先

ウテナ

社会情報学部社会情報学科
3年 山田 望実

働くことのおもしろさ、役に立つ喜びを実感

私は、スキン・ボディケア商品などを製造販売する株式会社ウテナで、5日間のインターンシップに参加した。調査業務、工場見学、マーケティング部での商品アイデア作成・発表といった一連の流れが凝縮された実習プログラムである。

初日は外回りの調査業務を体験。新商品を企画するためには、陳列された商品を見るだけでなく、お店の立地やお客様の動き、世間の関心などにも注意する必要がある、思っていた以上に大変だった。新たな発見も多かった。工場見学では、ひとつの商品が誕生するまでには多くの人が

かわっていることをあらためて理解し、妥協することなく熱心に仕事に取り組む従業員の姿に心を打たれた。

また、このプログラムを通して、自分でも驚くようなアイデアが次々と出てきた。一方で、それを言葉にして伝えることは難しく、試行錯誤を繰り返したことはとてもいい経験となった。

このインターンシップを通じて、働くことのおもしろさ、一生懸命に取り組むことのすばらしさ、誰かの役に立つことの喜びを強く感じることができた。今、就職活動にも積極的に取り組もうとする新しい私がいる。

2012年度 夏季インターンシップ 受け入れ先

- | | |
|--------------|---------------------|
| ● 朝霞市役所 | ● セントメディア |
| ● あさ出版 | ● 夢情報 |
| ● 荒川区役所 | ● 玉屋 |
| ● アンビシエイト | ● 東急アド・コミュニケーションズ |
| ● イマジンプラス | ● 東急不動産 |
| ● ウイズダムアカデミー | ● 東和エンジニアリング |
| ● ウテナ | ● トップシーン |
| ● ウム・ヴェルト | ● ナイスク |
| ● NHK出版 | ● 新座観光トラベル |
| ● エムエスデー | ● 新座市役所 |
| ● 興文堂 | ● 日新航空サービス |
| ● コクヨマーケティング | ● 日本管財 |
| ● 国会議員事務所 | ● 日本ケンタッキー・フライド・チキン |
| ● さいたま市役所 | ● 丸正飯塚 |
| ● 埼玉新聞社 | ● 丸文堂 |
| ● ザ・ライトスタッフ | ● むさし証券 |
| ● オフィス | ● りそな銀行 |
| ● 燦クリーン | ● 和光市役所 |
| ● 志木市役所 | |

*五十音順

大野詩歩 / 解説委員長
人間生活学部
児童幼児教育学科

憧れの女性像
真琴つばささん。新しいことに挑戦する姿がステキ

横内玲子 / 副編集長
社会情報学部
コミュニケーション学科

憧れの女性像
母。とても気丈な性格で、人生の模範にしたい

ブタン / 副編集長
社会情報学部
コミュニケーション学科

憧れの女性像
冰心。中国では「文学の祖母」と称されている

加藤里絵 / 副編集長
社会情報学部
コミュニケーション学科

憧れの女性像
努力し、自分に自信を持っている女性

3年生

生島成美 / 解説委員
人間生活学部
児童幼児教育学科

憧れの女性像
視野が広く、自分のことをよくわかっている女性

4年生

星野唯奈 / 副編集長
社会情報学部
コミュニケーション学科

憧れの女性像
やはり母は偉大！

河合咲絵 / 副編集長
人間生活学部
児童幼児教育学科

憧れの女性像
恩師。笑顔で明るく、包容力のある女性

岸真裕美 / 編集長
社会情報学部
コミュニケーション学科

憧れの女性像
母。生き方そのものがわたしの手本

粕谷みどり / 解説委員
人間生活学部
児童幼児教育学科

憧れの女性像
母。子どもを産み育て上げる母を尊敬

水野 遥 / 解説委員長
社会情報学部
コミュニケーション学科

憧れの女性像
藤田麻衣子さん。意志の強さに共感

三浦秀佳 / 副編集長
社会情報学部
コミュニケーション学科

憧れの女性像
万葉歌人・額田王。情熱的な恋の歌は憧れ

川島桃子 / 副編集長
社会情報学部
コミュニケーション学科

憧れの女性像
いきものがかりの吉岡聖恵さん。明るく前向き

大嶋理恵 / 総合デスク・副編集長
社会情報学部
コミュニケーション学科

憧れの女性像
天真爛漫な女性と一緒にいると元気をもらえる

久家未有紀 / 副編集長
人間生活学部
児童幼児教育学科

憧れの女性像
小倉優子さん。かわいくて、素敵だなあと思う

赤尾香澄 / 副編集長
社会情報学部
コミュニケーション学科

憧れの女性像
感謝の気持ちを持って、人のために動ける女性

坂上今日子 / 副編集長
社会情報学部
コミュニケーション学科

憧れの女性像
歌手の鈴木聖美さん。格好いい！

天羽洋子 / 副編集長
社会情報学部
コミュニケーション学科

憧れの女性像
常に輝きつつけている女性

佐々木茜 / 副編集長
社会情報学部
コミュニケーション学科

憧れの女性像
まわりに流されない、強い意志を持っている女性

上柿 茜 / 副編集長
社会情報学部
コミュニケーション学科

憧れの女性像
芯のある強い女性

田中 恵 / 副編集長
社会情報学部
コミュニケーション学科

憧れの女性像
澤穂希選手。諦めずに努力し続けた女性だから

オウ レイレイ / 副編集長
社会情報学部
コミュニケーション学科

憧れの女性像
宋美齡さん。非常に強い女性政治家

チン タンタン / 副編集長
社会情報学部
コミュニケーション学科

憧れの女性像
社会で活躍し、仕事と家庭を両立している女性

カク ギョウタン / 副編集長
社会情報学部
コミュニケーション学科

憧れの女性像
宋慶齡さん。権力に立ち向かう一女性

私たちの大学が、私たちがお届けします

十文字学園の今！

2年生

衣笠茉莉 / 記者
人間生活学部
メディアコミュニケーション学科

憧れの女性像
マザーテレサ。いつも人の幸せを考えているから

高根利佳 / 記者
人間生活学部
メディアコミュニケーション学科

憧れの女性像
小さな幸せを感じられる女性

荻原有莉 / 記者
人間生活学部
メディアコミュニケーション学科

憧れの女性像
委員会や部活の先輩。愚痴を言わず前向きだから

第46回 桐華祭

10/27・28

今年で46回目を迎える桐華祭が10月27日(土)、28日(日)に開催されます。当日は研究発表・展示、ダンス発表、模擬店を実施。2日目には、スギちゃん、エルシャラカーニが出演する「お笑いミニライブ」、松坂桃李さんが出演する「トークショー」も予定しています。学生はもちろん、家族連れまで老若男女が楽しめる学園祭に皆様是非お越しください。

【ダンス発表】

27日(土)11時～ / 無料、観覧自由

【お笑いミニライブ／トークショー】

28日(日)11時開場、12時開演、チケットはチケットぴあにてお買い求めください(1200円、予定枚数に達し次第、販売終了。当日券なし)

※車までのご来場はご遠慮ください。

◆問い合わせ先◆

【チケット】

実行委員会イベント局

090-6048-1702(月～土曜、12時～17時)

【学園祭】

学生生活課

048-260-7735

(直通)



写真は昨年の第45回開催時の様子。

創刊！

十文字学園ニュース (マンスリー)

2012年6月に『十文字学園ニュース(マンスリー)』が創刊されました。A4サイズ、4ページで、学園行事、大学の新しい取り組み、学生生活の最新情報などをきめ細かく掲載します。編集には、年3回発行の広報誌『新座だより』の編集局員と、「総合ゼミ」受講学生が参加し、学生の授業日程と連動させながら随時発行していく予定。今後の記事にご期待ください！



国際交流レポート

―中国の大学との連携密に―

深圳職業技術学院との留学生交流協定締結と、北京語言大学50周年記念式典出席のため中国を訪れた本学訪問団。海外の大学との交流促進、女子留学生の3年次編入要請に対応する受け入れ体制強化という使命を果たし、帰国しました。このほかにも本学は、中国の大学と多彩な交流活動を通してアジアにおける女性教育の活性化を図っています。

Report 1 深圳職業技術学院



犬棒かるたを指導。



劉洪一院長（右）と横須賀学長が協定に調印。

本学への3年次編入協定を締結
留学生別科で日本語習熟図る

横須賀学長は9月11日（火）、深圳職業技術学院で劉洪一院長と協定調印式に臨み、友好校締結に関する協定書、提携運営に関する協定書にサインした。

友好校協定には、日中友好、教育交流、教育の質向上を旨として、「學術教育圖書等の相互交流」「学生の派遣および受け入れ」がうたわれた。これを踏まえて、両校の提携運営に関する協定書では、深圳職業技術学院から十文字学園女子大学への留学生受け入れに關して、「同技術学院留学生を3年次編入生として受け入れること」「原則として、十文字学園女子大学は、留学生別科で日本語教育（半年間）を、学部においては編入学後2年間の専門教育を担当。卒業要件を満たした者に十文字学園女子大学の学位を授与すること」といった内容が盛り込まれた。

また、調印式に先立ち、劉洪一院長と横須賀学長が会見した。劉院長は、両校の今後の提携について、「深圳職業技術学院は深圳の発展を支える科学、技術、経済、外語学の教育を中心に展開している。しかし最近では、幼児教育、看護士育成分野における教育も必要となっている」と、日本語教育に限らない幅広い分野での交流を求めた。これに対し、横須賀学長は「十文字学園女子大学の教育実績を紹介。めざましい経済発展を遂げる中国深圳の総合高等教育を担う同校のために、「中学、高校、大学を通し、創立90周年を迎える女子教育の草分けとして、本学は協力を惜しまない」と答えた。本学の郝志強・特命教授が同席した。

横須賀学長が、「犬棒かるた」で
日本語学習のツボを教授

横須賀学長は調印式後、深圳職業技術学院日本語科で学ぶ、3年生60名に対し、「犬棒かるた」というのは「へ」との50音表を用い、日本語を楽しく学ぶツボを講義した。

学生はまず、「犬も歩けば棒に当たる」など読み札の言葉聞き、絵札を真剣に取り合つて、かるたの遊び方を学んだ。その後学長から、「いろはにほへと」と「犬棒かるた」を組み合わせて日本語の奥深さを身につけていく勉強法を教わった。

「犬も歩けば棒に当たる」の本来の意味が変化し、今は「外に出て歩けば何かいいことがあるかも知れない」という意味のことわざになっているといった学長の話を、学生たちは身を乗り出して真剣に聞いていた。

深圳職業技術学院

市内に経済特別区を有する中国屈指の世界都市・深圳。ここに4つのキャンパスを持つ深圳職業技術学院は、中国国内で最も早く設立された高等職業技術教育学校の一つだ。学生数は約2万5000人。ビジネスマネジメント、エンジニアリング、外国語、環境デザインなど15学科76コースを擁する3年制の大学。即戦力となる幅広い職業人の育成に力を入れ、卒業後の就職率は98%に達する。



Report 2 北京語言大学

50周年記念式典に横須賀学長が出席
崔学長が来校の思い伝える

横須賀学長は9月9日（日）、本学の友好校である北京語言大学で盛大に開催された「創立50周年記念式典」に出席。北京語言大学の崔希亮学長、戚德祥副学長と懇談し、両校の學術・教員・学生交流の一層の進展を確認した。また、崔希亮学長から、「東日本大震災により実現できなかった本学訪問に代えて、桜の咲く来春頃に十文字学園女子大学を訪問したい」との言葉があった。

「創立50周年記念式典」は、中国内外から多くの要人と41カ国の姉妹校関係者を迎え、同校の歴史紹介や校友代表ベルマン中国駐在フランス大使による留学時代のエピソードを交えた祝辞など、盛大かつ和やかな雰囲気の中で開催された。

※大西正行国際交流センター長、阿子島茂美教授、大石聡国際交流支援部長、山地優子同課員（通訳）が同行した。



Report 3 中国訪日団

十文字理事長らが出迎え、交歓
中国大学生50名が訪日

日本に関心を寄せる中国の大学生による訪日団一行が8月4日（土）、新座キャンパスで熱い歓迎を受けた。今回の来校は、郝志強本学特命教授のコーディネートにより実現したもので、参加大学は中華女子学院7名のほか、深圳職業技術学院30名、北京城市学院8名、北京科技大学国際学院3名、北京平成日本語学校2名の計50名（女子41名／男子9名）。このうち、8割の学生が日本語学科で学んでいる。さらに、4名の教職員も同行した。

4日午前、新座キャンパスに入った一行を十文字一夫理事長らが出迎えた。また、丸山晃特命教授（埼玉新聞社相談役）の歓迎の言葉に対し、各校代表が感謝の意を述べた。続いて、一行は留学生別科教員による模擬授業に参加。音楽教室では、箏曲部の演奏と、児童教育学科1年生6名、狩野浩二教授、久保田葉子講師らによる日本の歌を聴き、



本学の手作りの文化体験に心を和ませた。教職員、日本の学生が加わったの交流懇親会では、日本語による語らいの輪があり、ホスト役を代表して横須賀学長が一行の旅の平安を祈った。

Report 4 中華女子学院

短大からの本学編入に道を
中華女子学院から要請

本学の提携校である中華女子学院の叶水平外事弁公室主任、郝振武北京平成日本語学校留学担当は8月21日（火）、横須賀学長・橋本副学長らを表敬訪問した。

叶主任は、中華女子学院における女性研究のために、日本の歴史社会分野や女性に関する書籍の充実を本学に期待し、横須賀学長が協力を約束。叶主任はさらに、中華女子学院の短期大学から本学3年への編入対応、本学から中華女子学院への日本語講師派遣の検討についても、横須賀学長に要請した。



表敬訪問した叶水平主任ら（右から2人目）。

中華女子学院（北京）

国に承認された唯一の女子大学。女性幹部育成で知られる高水準の高等教育機関。全日制在校生は約5000人。女性教育の発展、向上、先進的なジェンダー文化をリードし、女性の国際交流に貢献。



ロールケーキ90本で学園創立90周年を祝う

学生の呼びかけで200名が集結

7月5日(木)、学生有志によって十文字学園創立90周年を祝う「お願いロールフェス」が行われた。このイベントは、今年2月に実施されたリーダーズキャンプで学生が企画したもので、地元の方々にも来校いただき、90周年を盛大に盛り上げた。

はじめに、和太鼓、ダンス、吹奏楽のパフォーマンスが行われた後、参加者がロールケーキにそれぞれ願いを書き入れ、祝った。用意されたロールケーキは90周年にかけて90本・長く連なったケーキも大勢で食べるとあつという間になくなり、イベントの成功を証した。

このイベントの代表を務めた川島桃子さん

(「コミュニケーション学科3年」は、「成功するか不安だったが、予想した参加人数をはるかに超える200名近くの方々に来ていただき、開催してよかったと心から思いました。)



先生やスタッフの支えがあったからこそ成功できたのだとあらためて感じています。このイベントが受け継がれていくと嬉しいです」と笑顔で語った。(岸真裕美編集長)



免許状更新講習で横須賀学長が講義

今年も、8月1日(水)〜7日(火)まで、教員免許状更新講習を実施した。受講者は269名、延べ838名が参加した。本学の卒業生は短期大学の初等教育学科5期生(昭和54年3月卒業)20名を中心に53名が出席した。初日の第1時間目の講習は横須賀学長による「教育政策の動向についての理解」。「教師は専門職であり、学び続ける存在でなくてはならないとあらためて痛感した」などの感想が寄せられた。

学業・課外活動の成績優秀者47名を表彰

平成24年度学業成績優秀者一覧		
4年		
社会情報学部	社会情報学科	関根靖子 辻かおり 夏目紗和 石井優貴
	コミュニケーション学科	高橋日菜子 山田千尋 小関愛理 成山あゆい
人間生活学部	児童幼児教育学科 幼児教育専攻	小高由実 坂本千秋 大熊美幸 和田香織
	児童幼児教育学科児童教育専攻	小岩井南海 近藤春美
	食物栄養学科	
	人間福祉学科	
人間発達心理学科		
3年		
社会情報学部	社会情報学科	島崎 彩 土屋桃子 坂上今日子 中川 優
	コミュニケーション学科	清水 綾 仲里美香 倉本奈津美 奈良 樹
人間生活学部	児童幼児教育学科 幼児教育専攻	金子千春 波多野郁美 坂本ゆき 鈴木七彩
	児童幼児教育学科児童教育専攻	石川友己 柳瀬美咲
	食物栄養学科	
	人間福祉学科	
人間発達心理学科		
2年		
人間生活学部	生活情報学科	新井彩香 加藤早百合 石川真希 渡邊真実
	メディア コミュニケーション学科	田中萌絵 橋本詩織
	幼児教育学科	川村まり 清水咲谷 新井麻友美 村崎里奈
	児童教育学科	井澤真佑 太田莉奈 岡部花帆 仲江由弥華
短期大学部	食物栄養学科	石川理沙 磯邊彩織 江原日菜子 加園理沙
	人間福祉学科	
人間発達心理学科		
平成24年度課外活動等に関する表彰		
人間生活学部	児童幼児教育学科 児童教育専攻 3年	武藤彩花
第61回日本書道院[華甲]展覧会において 全日本書道連盟賞を受賞		

近隣大学と合同で
科研費説明会

本学では6月21日(木)、日本学術振興会研究事業部研究助成第一課課長代理の吉田正男氏を講師としてお迎えし、近隣大学と合同で科研費説明会を開催した。参加したのは跡見学園女子大学、女子栄養大学、日本社会事業大学、明治薬科大学、立教大学など6機関、26名を含む155名。科研費申請の留意点や今年度の変更点、採択までの流れなどについて説明があり、参加者は熱心に耳を傾けた。(研究協力課長 鈴木本章記)

表現文化大賞「優秀賞・準優秀賞」表彰

個性豊かな6作品が受賞

受賞作 詩	
— 優秀賞 —	小池那央子さん(表現文化学科1年)「リメイク」
— 優秀賞 —	野口藍さん(表現文化学科1年)「いのち」
— 準優秀賞 —	岩井春輝さん(星野高等学校1年)「もう一度」
マスコットキャラクター	
— 優秀賞 —	面来小百合さん(表現文化学科1年)
— 優秀賞 —	丸山怜華さん(文学科国語国文専攻2年)
— 準優秀賞 —	ヨウ キョウミンさん(文学科国語国文専攻2年)



講演会「100年前の女の子からのメッセージ」開催

船曳氏が戦時中に知った本のありがたさ

本学で7月7日(土)「フリージャーナリストの船曳由美氏による公開講演会」100年前の女の子からのメッセージ」が開催され、学生や一般の方など約500人が訪れた。講演後は船曳氏の著書「100年前の女の子」をサインつきで販売。同著は船曳氏の母親、テイさんの記憶をもとに筆者が民俗学的な検証を加えて記した物語である。講演では著書の説明のほか、昔ながらの七夕の祝い方やテイさんの恩師である新渡戸稲造氏について話した。さらに講演の後半では、「いっぱい本を読んでもください」と聴衆に呼びかけた。船曳氏は戦時中、疎開時に家の留守を任せていた人に絵本をすべて



横須賀学長が24年度特待生を表彰

学力、運動能力に優れた2名を選出

特待生は、入学時ににおいて特に優れた学力や運動・芸術方面の能力がある者について申請にもとづいて表彰するもので、平成24年度の特待生として5月18日(金)に横須賀学長より次の2名の学生が表彰された。

※横山久美さんは岡山湯郷Boieでの練習参加中のため、お母さんの雅子さんが授与式に出席した。

学業成績による特待生
人間生活学部 幼児教育学科1年 小棚木舞
スポーツ特待生
人間生活学部 メディアコミュニケーション学科1年 横山久美



豆腐フェアにレシピ集とシフォンケーキを提供

東南アジアにも大豆の食文化を発信しよう

3月10日(土)・11日(日)、東京ビッグサイトで「2012豆腐フェア」が開催された。三善豆腐工場の平田氏から依頼を受けて本学とのコラボを企画し、レシピ集、大豆を使ったHEALTHY MENUと、豆腐のシフォンケーキの試食を提供。ケーキはわずか30分でなくなるほどの人気ぶりだった。平田氏が所属する東京都豆腐商工組合のブースでは、東京豆腐や深川いなり、おかからケーキなどを販売。豆腐コンテストでは、東京都豆腐商工組合が見事グランプリを獲得した。2日で約1万9000人が来場し、大盛況のイベントとなった。

豆腐は栄養価が非常に高いため、健康維持食品として注目されている。このコラボをきっかけに、本学アジア食文化研究所の山本茂教授も、東南アジアの有識者を日本に招き、東京都豆腐商工組合の協力のもと大豆の食文化や豆腐の魅力をアジアに広める活動を構想中とのこと。食の輪が広がります。 (教授長澤伸江記)



資金収支決算

単位：百万円			
科目	23年度	22年度	増減
収入の部			
学生生徒等納付金収入	4,993	4,949	44
手数料収入	82	79	3
寄付金収入	5	1	4
補助金収入	965	1,087	△122
資産運用収入	1	2	△1
資産売却収入	1	49	△48
事業収入	22	28	△6
雑収入	198	113	85
借入金等収入	2	802	△800
前受金収入	869	866	3
その他の収入	2,127	2,107	20
資金収入調整勘定	△1,088	△1,095	7
前年度繰越支払資金	2,777	2,507	270
収入の部合計	10,954	11,495	△541
支出の部			
人件費支出	3,894	3,694	200
教育研究経費支出	874	833	41
管理経費支出	491	665	△174
借入金等利息支出	34	28	6
借入金等返済支出	142	138	4
施設関係支出	240	1,243	△1,003
設備関係支出	105	145	△40
資産運用支出	1	0	0
その他の支出	2,413	2,465	△52
資金支出調整勘定	△453	△493	40
次年度繰越支払資金	3,213	2,777	436
支出の部合計	10,954	11,495	△541

消費収支決算

単位：百万円			
科目	23年度	22年度	増減
収入の部			
学生生徒等納付金	4,993	4,949	44
手数料	82	79	3
寄付金	5	4	1
補助金	965	1,087	△122
資産運用収入	1	2	△1
資産売却差額	1	29	△28
事業収入	22	28	△6
雑収入	365	200	165
帰属収入合計	6,434	6,378	56
基本金組入額合計	△437	△628	191
消費収入の部合計	5,997	5,750	247
支出の部			
人件費	4,040	3,767	273
教育研究経費	1,366	1,307	59
管理経費	559	738	△179
借入金等利息	34	28	6
資産処分差額	40	9	31
徴収不能額	36	33	3
消費支出の部合計	6,075	5,882	193
当年度消費収入超過額	—	—	—
当年度消費支出超過額	78	131	△53
前年度繰越消費収支超過額	4,412	4,281	131
翌年度繰越消費収支超過額	4,490	4,412	78

貸借対照表(平成24年3月31日現在)

単位：百万円			
資産の部		負債・基本金・消費収支差額の部	
科目	金額	科目	金額
固定資産	15,660	負債の部	4,358
有形固定資産	15,383	固定負債	2,704
その他の固定資産	277	流動負債	1,654
流動資産	3,412	基本金の部	19,204
現金預金	3,213	第1号基本金	18,823
未収入金	192	第4号基本金	381
その他	7	翌年度繰越消費収支差額	△4,490
合計	19,072	合計	19,072

主要財務分析比率

単位：％					
比率	算式(×100)	評価	23年度	22年度	増減
自己資金構成比率	自己資金／総資金	↑	77.2	76.1	1.1
人件費比率	人件費／帰属収入	↓	62.8	59.1	3.7
教育研究経費比率	教育研究経費／帰属収入	↑	21.2	20.5	0.7
管理経費比率	管理経費／帰属収入	↓	8.7	11.6	△2.9
帰属収支差額比率	帰属収支差額／帰属収入	↑	5.6	7.8	△2.2

※「評価」欄の「↑」は高い値が良い、「↓」は低い値が良いことを示しています。

【総括】

平成23年度は、大学院(人間生活学研究科 食物栄養学専攻)の完成年度、大学は社会情報学部、人間生活学部を改組した(新)人間生活学部(1学部7学科)の開始年度、中学・高校は学習指導要領を全面改訂するなど改革実施のスタート年度でありました。このような教育改革を円滑に実行推進するため、教育研究面での一層の充実を図るとともに、合理化・効率化の推進、省エネ策の促進、前例踏襲の徹底排除による経費削減に努めてまいりました。平成23年度における施設および設備の整備実施は、以下のとおりであり、優先順位を明確にして取り組み、学生満足度の向上、教育力強化、学園環境改善に努めております。

整備内容：省エネ型トイレ改修／CALL教室英語教育用設備更新／エレベーター設置(1号棟)／アルミサッシ窓の改修 等々

平成23年度

学校法人十文字学園

決算の概要

職員が新座の名刹・平林寺について理解を深めることを目的に6月25日(月)、21名の職員が金鳳山平林寺で研修を行った。当日は、新座市役所経済観光部山本観光推進課長、新座市教育委員会生涯学習課斯波副課長兼学芸員のご案内のもと、野火止用水路、林泉境内などについて丁寧な説明を受け、地域を知るよい機会となった。



平林寺で
職員研修会を実施

平成24年度名誉教授(敬称略)
江川玫成 曾我淑人
アンソニー・ルフア
井口磯夫 浜由美子
齊川富夫



名誉教授へ
称号記を授与

5月10日(木)、6名の先生に称号記が贈られ、新たに名誉教授が誕生した。

7月19日(木)、本学を取り巻く諸課題を教職員が積極的に学ぶ「第2回 大学問題研究会」が開かれ、金子廣志新座市教育長が「地域から十文字学園女子大学に期待すること」をテーマに講演した。金子氏は、大学と地域における連携活動の意義を説く一方、地域フリーバーバー「ナチュライフ」の記事を挙げ、大学生が地域から学ぶことの大切さを強調した。



新座市教育委員会
教育長金子氏が講演



齋藤麗子教授に
感謝状

7月9日(月)、齋藤麗子教授の長年にわたる女子少年に対する再喫煙防止教育およびその保護者への健康教育に対し、法務省東京矯正管区長より感謝状が授与された。

若桐会だより

総会・懇親会、今年も華やかに

■第一部「総会」

会員の皆様に感謝の思いをこめて

6月3日(日)、第44回若桐会総会が本学で開催され、210名の会員が出席しました。

第一部の総会では、濱口恵子会長、横須賀薫学長、青木康子委員長の挨拶に続き、平成23年度事業報告・会計報告、平成24年度事業計画案・予算案の審議が行われ、満場一致で可決承認されました。

本年度も継続した「卒業生の紹介による受験料優遇制度」では、2012年度入試において52件の紹介がありました。会員のご支援・協力に、心より厚く御礼申し上げます。



■第二部「懇親会」
心温まる再会のひととき

志村二三夫副学長の挨拶に続き、橋本ヒロ子副学長による乾杯のご発声。シャンパングラスが涼やかに響き合うなか会食へ。いつもながら料理も大変好評でした。

恩師・旧知の友との楽しい懇談の後、「第5回還暦を祝う会」で満60歳を迎えた卒業生4

名のご挨拶と、お祝いの花束贈呈がありました。恒例のビンゴゲームでは、理事長・学長をはじめ多くの教職員より豪華プレゼントのご協力があり、会場は沸き立ちました。また、当日は卒業生向けの人間福祉学科編入学相談会も行われました。

会場のカフェテリアから眺めるグラウンドの芝生はまるで美しい緑の絨毯のよう。やさしいそよ風が吹き、チビツ子たちの楽しそうな声が響くなか、和やかに閉会しました。

総会などの様子は本学ホームページからご覧いただけます(更新中)。



還暦を迎えた卒業生を囲んで。



豪華プレゼントの目録を手に喜ぶ卒業生。

最新入試情報

◎平成25年度 推薦入試日程

学部・学科（募集定員）			出願期間（郵送：必着）		試験日	合格発表	出願資格
人間生活学部	幼児教育学科	60名	I期	10/30（火）～11/5（月）	11/11（日）	11/15（木）	高等学校を平成25年3月卒業見込みの女性で、全体の評定平均値が3.3以上、専願とする。
			Ⅱ期	12/4（火）～12/10（月）	12/16（日）	12/19（水）	
	児童教育学科	23名	I期	10/30（火）～11/5（月）	11/11（日）	11/15（木）	【選考方法】 幼児教育学科 ▶ 調査書・面接・作文
			Ⅱ期	12/4（火）～12/10（月）	12/16（日）	12/19（水）	
	人間発達心理学科	30名	I期	10/30（火）～11/5（月）	11/11（日）	11/15（木）	児童教育学科／人間発達心理学科／食物栄養学科 ▶ 調査書・面接・小論文
			Ⅱ期	12/4（火）～12/10（月）	12/16（日）	12/19（水）	
	食物栄養学科	40名	I期	10/30（火）～11/5（月）	11/11（日）	11/15（木）	高等学校を平成25年3月卒業見込みの女性で、専願とする。
			Ⅱ期	12/4（火）～12/10（月）	12/16（日）	12/19（水）	
	人間福祉学科	20名	I期	10/30（火）～11/5（月）	11/11（日）	11/15（木）	【選考方法】 調査書・面接
			Ⅱ期	12/4（火）～12/10（月）	12/16（日）	12/19（水）	
短期大学部	生活情報学科	30名	I期	10/30（火）～11/5（月）	11/11（日）	11/15（木）	高等学校を平成25年3月卒業見込みの女性で、専願とする。【選考方法】調査書・面接
			Ⅱ期	12/4（火）～12/10（月）	12/16（日）	12/19（水）	

◎平成25年度 編入学入試日程

学部・学科（募集定員）			出願期間（郵送：必着）		試験日	合格発表	出願資格
人間生活学部	幼児教育学科	3年次10名		11/29（木）～12/5（水）	12/16（日）	12/19（水）	【選考方法】 幼児教育学科／人間福祉学科（社会福祉コース）／生活情報学科／メディアコミュニケーション学科 ▶ 小論文（60分・800字）、個人面接、出願書類 人間発達心理学科 ▶ 小論文（60分・800字）、英語（60分）、個人面接、出願書類
	人間発達心理学科	3年次5名		11/29（木）～12/5（水）	12/16（日）	12/19（水）	
	人間福祉学科（社会福祉コース）	3年次5名	I期	11/29（木）～12/5（水）	12/16（日）	12/19（水）	
			Ⅱ期	2/26（火）～3/5（火）	3/16（土）	3/19（火）	
	生活情報学科	3年次5名	I期	11/29（木）～12/5（水）	12/16（日）	12/19（水）	
			Ⅱ期	2/26（火）～3/5（火）	3/16（土）	3/19（火）	
	メディアコミュニケーション学科	3年次5名	I期	11/29（木）～12/5（水）	12/16（日）	12/19（水）	
			Ⅱ期	2/26（火）～3/5（火）	3/16（土）	3/19（火）	

★オープンキャンパス開催時に編入学についての個別相談を行います。相談時に学科の授業内容、単位認定、資格取得、ゼミ等について説明します。編入学を希望する方は、できる限り参加してください。お問合せ先：募集・入試センター 電話 0120-8164-10

◎オープンキャンパス

11月25日(日)・12月9日(日) 13:00～16:00

本学に入学を希望する方、興味をお持ちの方、ぜひご参加ください。

内容▶ 在学生によるキャンパスツアー、個別説明・相談、アカデミック展示、学生と話そうコーナーなどを予定しています。

※AO入試相談・編入学相談も受け付けます。

◎桐華祭進学相談会

10月27日(土)・28日(日) 10:00～15:00

推薦入試直前の相談会になりますので、ぜひお越しください。

会場▶ 募集・入試センター

内容▶ 個別説明と相談、募集要項(入学願書)や一般入試過去問題集などの資料配布を行います。予約不要。

※AO入試相談・編入学相談も受け付けます。

◎入試相談会

2月21日(木)・3月7日(木) 13:00～

3月入試・AO入試の受験相談を受け付けます。受験を考えている方、志望する学科の教育に興味・関心のある方のご参加をお待ちしております。 ※AO入試は以下の学科で実施します。

入試形態・実施学科

▶ 対話型・有資格者型

<人間生活学部>

人間福祉学科・生活情報学科・メディアコミュニケーション学科

<短期大学部>表現文化学科

▶ 課題型

<人間生活学部>人間発達心理学科

★同窓会関係者への入試検定料優遇と免除について

同窓会関係者への入試検定料優遇および免除を以下の通り実施します。

本学（十文字学園女子大学、十文字学園女子大学短期大学部、十文字学園女子短期大学）卒業生の紹介による入試検定料優遇

〔大学〕

対象：大学入試センター試験利用入試を除くすべての入試
検定料：35,000円 → 20,000円

〔短期大学部〕

対象：推薦入試、一般入試、AO入試
検定料：35,000円 → 20,000円

本学卒業生(卒業見込みを含む)の検定料免除

十文字学園女子大学、十文字学園女子大学短期大学部（十文字学園女子短期大学）、十文字高等学校卒業生（見込みを含む）の検定料は無料。

※受験生をご紹介いただける場合、または本学園を卒業された（見込みを含む）方が受験を希望される場合は、本誌に同封の「卒業生紹介カード」に必要事項をご記入のうえお送りください。折り返し資料をお送りいたします。

在学生の家族(姉妹、母など)の検定料優遇

検定料：大学 35,000円 → 20,000円
短期大学部 30,000円 → 20,000円

公開講座のご案内 ― 大学開放・地域連携推進センターから

2012年度10月～12月の「公開講座」

下記のとおり公開講座を開催します。ふるってご参加ください。
公開講座のお知らせは、本学ホームページにも掲載しています。

■桐華祭講演会

「伊達家当主が語る戦国武将の素顔」

日時▶ 10月27日(土)13:30～15:00

コーディネーター▶

星野敦子

(大学開放・地域連携推進センター長・人間生活学部生活情報学科教授)

講師▶ 伊達泰宗氏(仙台伊達家十八代当主)、山名美和子氏(歴史作家)

定員▶ 200名

内容▶ 天下取りには、二十年遅く生まれてきた伊達政宗ではあったが、関ヶ原の役以降、諸大名が代替わりによって、徳川家康の前にひれ伏す中で、最後の戦国大名、言い換えるならば創業者たる政宗の存在は家康にとって脅威的のとなっていた……。戦国時代が終わってもなお、天下をうかがう政宗が将軍家康に

仕掛けた「独眼竜政宗最後の決戦」ほか、政宗公の事績を子孫の視点から解説します。

講師の 伊達泰宗氏 山名美和子氏 埼玉まなびプロジェクト協賛事業

■新座市内大学公開講座(全4回)

※第1回は終了しました。

第2回「ファイトこそ私の人生 ―川島昭恵・語りの世界―」

日時▶ 10月13日(土) 13:30～15:30

コーディネーター▶

星野敦子

(大学開放・地域連携推進センター長・人間生活学部生活情報学科教授)

講師▶ 川島昭恵氏(語り部)

定員▶ 180名

内容▶ 盲目の語り部、川島昭恵が創る幻想的な物語の世界。あまんきみこ作「お母さんの目」、杉みぎ子作「夜のくだもの屋」、そして安房直子作「魔法をかけられた舌」など珠玉の作品を自らの人生の歩みを交えて語ります。

第3回「山川菊栄・その人と活動 ―監督とのトーク&シネマ―」

日時▶ 11月17日(土) 13:30～15:30

コーディネーター▶

亀田温子

(人間生活学部生活情報学科教授・女性と教育研究所代表)

講師▶ 山上千恵子氏(映画監督・ドキュメンタリー「姉妹よ、まずかく疑うことを習え」)

定員▶ 200名

共催▶ 女性と教育研究所

内容▶ 女性が今より生きにくい大正時代に、男女平等の社会を求めて活動した山川菊栄。経済的自立と母性保護、双方とも必要という主張は現代の女性の生き方にもつながるテーマです。その生涯を描いた生誕120周年記念映画を上映。監督の山上千恵子氏と語りましょう。

第4回「シニアのための調理教室 ―食と健康―」

日時▶ 12月8日(土) 13:30～15:30

講師▶ 小谷スミ子

(人間生活学部食物栄養学科教授)

定員▶ 40名

費用▶ 調理実習材料費500円、保険代20円

持ち物▶ エプロン、三角巾、上履き

内容▶ 健康でいきいきとしたシニアをめざすため、毎日の食事を見直しましょう。献立を考えて食事づくりをすることは、手足を動かすだけでなく足腰を鍛え、脳の活性化にもつながります。おいしい料理を楽しく作りましょう。



昨年度開催の様子。

創立90周年記念
十文字学園女子大学公開講座 in 川越
「ことばの花束をあなたに」

日時▶ 12月1日(土) 14:00～15:10

場所▶ 川越プリンスホテル

講師▶ 好本恵(元NHKアナウンサー・本学特任教授)

定員▶ 200名

内容▶ アナウンサーとして長く放送に携わり、多くのすばらしいことばに出会ってきました。この10年は大学で講師もしていますが、自分の言葉で考え、自分の思いや感情を人に伝えることが苦手だという学生が増えているように思います。どの社会でも「コミュニケーション能力」が求められる今、私たちは、家庭や地域で子どもや若者とうかがわかっていけばよいのでしょうか。番組のエピソードなども交えて楽しくお話できたらと考えています。

予約方法／お問い合わせ先

参加希望の方は、必ず、事前にお申込みください。各講座1カ月前より、電話・メール・FAXのいずれかでお申し込みください。

①受講希望の講座名・日にち ②氏名(フリガナ)

③電話番号 ④講座をお知りになった媒体をご記入の上、お申し込みください。

【お申し込み・お問い合わせ先】

大学開放・地域連携推進センター

TEL：048-477-0958（直通） E-mail：ext@jumonji-u.ac.jp

FAX：048-477-0764

※メールでお申込みの場合は、「受付完了」の返信メールが届いた時点で「受付完了」となります。